



## 平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年2月13日

上場会社名 株式会社新潟放送 上場取引所 東  
 コード番号 9408 URL http://www.ohbsn.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 隆夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 大竹 正敏 TEL 025-267-4111  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	13,965	2.7	542	33.6	588	27.4	410	42.0
30年3月期第3四半期	13,594	△9.4	405	△44.8	462	△41.1	289	△50.2

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 118百万円 (△85.6) 30年3月期第3四半期 822百万円 (△9.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	68.43	-
30年3月期第3四半期	48.18	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	22,688	17,411	68.8	2,601.00
30年3月期	23,832	17,355	65.4	2,598.14

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 15,603百万円 30年3月期 15,586百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	-	5.00	-	5.00	10.00
31年3月期	-	3.75	-	-	-
31年3月期(予想)	-	-	-	3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	4.2	1,045	30.6	1,093	25.6	644	22.2	107.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、 除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	6,000,000株	30年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	1,036株	30年3月期	958株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	5,999,025株	30年3月期3Q	5,999,151株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 平成31年3月期の個別業績予想 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,920	2.5	571	80.6	440	57.5	73.35

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

\* 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料P2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9
4. (参考) 個別業績の概要	10
(1) 個別経営成績	10
(2) 個別財政状態	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は企業業績や雇用情勢の改善などに伴い緩やかな回復基調にありました。その一方、世界経済においては、米国と中国の貿易摩擦の長期化や不安定な欧州情勢など、先行き不透明な状況で推移しており、株式市況などを通じ国内経済への影響も無視できないものとなっています。

このような状況のなかで、それぞれ異なる分野で事業活動を展開する当社グループは、各事業部門において積極的な営業活動とサービスの提供に努めました。その結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は139億6千5百万円（前年同期比102.7%）となり、前年同期に比べ3億7千1百万円の増収となりました。

また、利益面におきましては、営業利益は5億4千2百万円（前年同期比133.6%）、経常利益は5億8千8百万円（前年同期比127.4%）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億1千万円（前年同期比142.0%）となりました。

事業の部門別の概況は次のとおりであります。

## 〔放送事業〕

放送事業におきましては、ラジオでは、スポット収入が堅調に推移しましたが、タイム収入が振るわず、全体では前年同期を下回りました。テレビでは、県外のスポット収入が落ち込み、前年同期を下回りました。また、その他の収入においては、各種音楽コンサートを開催したことなどにより、前年同期を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は50億3千9百万円（前年同期比99.7%）となり、営業利益では3億2千2百万円（前年同期比201.5%）となりました。

## 〔情報処理サービス事業〕

情報処理サービス事業におきましては、国内のパソコン供給不足による影響で第3四半期は販売収入が減少しましたが、前年度から継続の首都圏での大型開発案件が好調に推移したことに加え、公共パッケージ分野も上期の好調を維持し、さらにIoT、ビッグデータ、RPAなどの新分野への取り組みが新規顧客開拓につながりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は83億2千万円（前年同期比105.0%）となり、営業利益は2億8百万円（前年同期比103.1%）となりました。

## 〔建物サービスその他事業〕

建物サービスその他事業におきましては、営業部門において、SNS広告やCM素材制作などを新規に受注して増収となりました。施設管理部門では、オフィスビルの空調設備更新工事を受注しましたが、商業施設のテナント入退去に伴う内装監理業務などが伸びず、前期を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10億7千万円（前年同期比99.4%）となり、営業利益では1千万円（前年同期比24.3%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (財政状態の分析)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は226億8千8百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億4千3百万円減少いたしました。

資産の部では、流動資産が105億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億9千3百万円減少しております。これは主に現金及び預金が1億2千6百万円、たな卸資産が8億5千3百万円、その他の流動資産が2億1千2百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が19億5千8百万円減少したことなどによります。固定資産は、121億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億5千万円の減少となりました。これは無形固定資産が8千万円増加したものの、有形固定資産が3億3千3百万円減少しており、また、退職給付に係る資産が1億7千万円、繰延税金資産が1億5千4百万円増加、投資有価証券が4億4千1百万円減少したことなどにより投資その他の資産が9千7百万円減少したことによります。

負債の部では、流動負債が39億7千6百万円となり、前連結会計年度末に比べて8億5千4百万円減少しております。これは主に未払金が5億6千5百万円、短期借入金が8千5百万円、リース債務が7千2百万円、賞与引当金が6千7百万円、その他の引当金が3千6百万円減少したことなどによるものであります。固定負債は13億円となり、前連結会計年度末に比べて3億4千5百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が6千8百万円、リース債務が2億7千8百万円減少したことによります。

純資産の部では、利益剰余金の増加3億5千8百万円、その他有価証券評価差額金の減少3億7千4百万円、退職給付に係る調整累計額の増加3千4百万円、非支配株主持分の増加3千8百万円により174億1千1百万円となり、前連結会計年度末に比べて5千6百万円増加いたしました。以上の結果、自己資本比率は68.8%となり、前連結会計年度末に比べて3.4ポイントの増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表いたしました業績予想を修正しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,883,208	6,009,397
受取手形及び売掛金	4,712,511	2,753,994
有価証券	30,075	—
商品	102,573	485,932
原材料	8,830	54,395
仕掛品	104,561	529,270
その他の流動資産	466,511	678,626
貸倒引当金	△7,494	△4,044
流動資産合計	11,300,775	10,507,572
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,510,819	2,482,959
土地	2,430,862	2,430,862
リース資産（純額）	1,561,133	1,233,047
その他（純額）	644,886	667,260
有形固定資産合計	7,147,702	6,814,130
無形固定資産		
	173,843	254,475
投資その他の資産		
投資有価証券	3,291,635	2,849,886
退職給付に係る資産	1,121,662	1,292,120
繰延税金資産	265,645	419,953
その他の投資及びその他の資産	568,125	579,533
貸倒引当金	△37,195	△28,759
投資その他の資産合計	5,209,874	5,112,733
固定資産合計	12,531,420	12,181,340
資産合計	23,832,196	22,688,912

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	2,743,696	2,178,197
短期借入金	561,800	476,800
リース債務	634,616	561,637
未払法人税等	118,527	96,874
賞与引当金	415,896	348,833
その他の引当金	46,500	10,000
その他の流動負債	310,133	304,641
流動負債合計	4,831,169	3,976,983
固定負債		
長期借入金	146,300	78,200
役員退職慰労引当金	78,974	86,684
退職給付に係る負債	225,484	221,881
リース債務	1,046,841	768,165
その他の固定負債	148,100	145,637
固定負債合計	1,645,699	1,300,567
負債合計	6,476,869	5,277,551
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	5,750	5,750
利益剰余金	14,549,690	14,907,715
自己株式	△663	△734
株主資本合計	14,854,778	15,212,731
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	696,396	321,470
退職給付に係る調整累計額	35,154	69,291
その他の包括利益累計額合計	731,550	390,761
非支配株主持分	1,768,998	1,807,868
純資産合計	17,355,327	17,411,361
負債純資産合計	23,832,196	22,688,912

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	13,594,151	13,965,702
売上原価	9,798,060	10,134,779
売上総利益	3,796,091	3,830,922
販売費及び一般管理費	3,390,158	3,288,577
営業利益	405,932	542,345
営業外収益		
受取利息	3,114	2,001
受取配当金	54,832	53,890
受取賃貸料	8,457	6,353
その他	19,437	11,940
営業外収益合計	85,842	74,186
営業外費用		
支払利息	13,585	14,230
その他	15,859	13,317
営業外費用合計	29,445	27,548
経常利益	462,329	588,983
特別利益		
固定資産売却益	7	—
投資有価証券売却益	50,097	—
ゴルフ会員権売却益	—	462
特別利益合計	50,104	462
特別損失		
固定資産除却損	2,631	1,034
特別損失合計	2,631	1,034
税金等調整前四半期純利益	509,802	588,412
法人税等	172,511	128,200
四半期純利益	337,291	460,211
非支配株主に帰属する四半期純利益	48,231	49,695
親会社株主に帰属する四半期純利益	289,060	410,516

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	337,291	460,211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	394,066	△375,722
退職給付に係る調整額	91,207	34,136
その他の包括利益合計	485,273	△341,585
四半期包括利益	822,565	118,626
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	773,989	69,726
非支配株主に係る四半期包括利益	48,575	48,899

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	情報処理サ ービス事業	建物サー ビスその他事 業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,008,526	7,857,504	728,121	13,594,151	—	13,594,151
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	46,863	68,470	349,042	464,376	△464,376	—
計	5,055,390	7,925,974	1,077,163	14,058,528	△464,376	13,594,151
セグメント利益	160,125	202,238	43,037	405,401	530	405,932

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	情報処理サ ービス事業	建物サー ビスその他事 業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,988,272	8,253,755	723,673	13,965,702	—	13,965,702
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	50,989	66,593	347,161	464,744	△464,744	—
計	5,039,262	8,320,349	1,070,835	14,430,446	△464,744	13,965,702
セグメント利益	322,632	208,568	10,448	541,650	694	542,345

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。

## 4.（参考）個別業績の概要

## （1）個別経営成績

平成31年3月期第3四半期の業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	5,039	△0.3	322	101.5	402	73.5	342	95.6
30年3月期第3四半期	5,055	△4.2	160	△61.6	231	△53.5	175	△60.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	57.15	—
30年3月期第3四半期	29.22	—

## （2）個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
31年3月期第3四半期	12,770	11,528
30年3月期	13,116	11,611